

授業科目(ナンバリング)	文学論 (AB109)			担当教員	※中島 恵美子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講座では、学びの地である長崎に視点を置き、文学作品を身近に感じることで文学の本質をとらえ直したい。今回は長崎出身の作家や長崎を舞台とする作品等、長崎にゆかりのある文学について、講義と演習により理解を深めたい。読書へ誘い、郷土愛を育み、自身の内面の醸成を図ることをねらいとする。							① ⑥ ⑦ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	・長崎にゆかりのある文学作品を通して、文学の本質を探ることができる。				授業態度・授業への参加度	20%	
情報収集、分析力	・長崎を舞台とする作品を通して、作品の背景や長崎の魅力について再発見し、整理することができる。				情報収集の量と発表	10%	
コミュニケーション力	・グループワークを通して、互いの意見に耳を傾け補足しながら、長崎の文学についてプレゼンテーションができる。				グループワーク受講者の発表	10%	
協働・課題解決力	・作品ごとの感想や意見を自分のことばでまとめ、他者に伝えることができる。				ミニレポート	10%	
多様性理解力	・長崎という土地が作者と作品にどのような影響を与えたかを、収集した情報と作品を通して考えることができる。				定期試験	50%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験の成績を50%とし学期末に試験を行う。受講者の文学的視点が明確であるか、独自の見解を有しているか、文章構成や論述方法などを総合的に評価する。また、授業ごとのミニレポートは作品に対する理解度や設問内容への理解と解釈を中心に評価し、その都度フィードバックする。長崎ゆかりの作品をはじめ読書意欲の高まりもあわせて総合的に評価する。							
授業の概要							
文学の中でも長崎にゆかりのある作家や作品について学習する。長崎ゆかりの文学作品を読解することにより、ふるさとの魅力を再発見し、読書へ誘うことを最終目的とする。講義だけによらず、様々な情報を収集・整理し、講師や他者と意見交換しながら思考を深めていく。既成の評論的な作品評価ではなく、自分自身の作品のとらえ方、感じ方を養っていききたい。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：「長崎游学14 長崎文学散歩～作家たちに愛された長崎を歩く～」 参考書：必要に応じて紹介する。 指定図書：「長崎の文学」 各文庫本							
授業外における学修及び学生に期待すること							
長崎にゆかりのある作家や文学作品に関心を持ち、郷土長崎の魅力を再発見するとともに、大学図書館や県立図書館等で郷土長崎に関する書籍を探すなど、「長崎」というキーワードから文学を身近なものとしてほしい。概論的な内容ではなく、「長崎の文学」に特化した授業であることを理解し、積極的に長崎という地域への理解を深めてほしい。郷土の文化や歴史的な問題などに触れながら、長崎の文学を契機として文学の魅力を感じ、主体的な読書を目指してほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	「長崎の文学」についての概論と講義の進め方、大学図書館等の活用について理解する。	教科書 p 2～3、 p 94～99
2	芥川龍之介『奉教人の死』①	芥川龍之介の長崎来訪と、長崎を舞台とする作品との関係について知る。	教科書 p 4～7、 プリント教材
3	芥川龍之介『奉教人の死』②	『奉教人の死』を読み、キリスト教が長崎の文学の主題の一つであることを理解する。	教科書 p 4～7 プリント教材
4	さだまさし 『二番線ホーム』	長崎出身の作家・さだまさしについて文学的側面を知り、作品からふるさとの意味を考える。	教科書 p 34～37 プリント教材
5	さだまさし 『解夏』	『解夏』を読み、長崎の風土を背景に描かれた主人公の葛藤を読み取る。	教科書 p 34～37 プリント教材
6	司馬遼太郎『竜馬がゆく』①	直木賞作家・司馬遼太郎の長崎を舞台とする作品を知る。	教科書 p 30～33 プリント教材
7	司馬遼太郎『竜馬がゆく』②	『竜馬がゆく』を読み、司馬の作品と長崎の関係を理解する。	教科書 p 30～33 プリント教材
8	佐藤正午 『櫓』	長崎出身の直木賞作家・佐藤正午と佐世保との関わりを知る。	教科書 p 60～61 プリント教材
9	佐藤正午 『小説の読み書き』	『小説の読み書き』を読み、文学作品の面白さを感じ、読書意欲を高める。	教科書 p 60～61 プリント教材
10	吉村昭『ふおん・しいほととの娘』①	吉村昭の長崎来訪と、長崎を舞台とする作品との関係について知る。	教科書 p 12～17 プリント教材
11	吉村昭『ふおん・しいほととの娘』②	『ふおん・しいほととの娘』を読み、「出島」が長崎の文学の主題の一つであることを理解する。	教科書 p 12～17 プリント教材
12	カズオ・イシグロ 『遠い山なみの光』	ノーベル賞作家であるカズオ・イシグロについて学び、その作品に触れる。	教科書 p 26～29 プリント教材
13	林京子『祭りの場』①	長崎出身の芥川賞作家・林京子の生涯を知る。	教科書 p 48～51 プリント教材
14	林京子『祭りの場』②	『祭りの場』を読み、原爆が長崎の文学の主題の一つであることを理解する。	教科書 p 48～51 プリント教材
15	日本文学における長崎の文学	「長崎の文学」のもつ地域性と普遍性について考察する。	プリント教材 大学図書館で長崎に関する本を1冊選び借りる。
16	定期試験		